

笑顔と誇りを未来へつなぐまち 飯南

IINAN

い-なん

2025

8

No.248



YOHAKU ARIMASU
IINANCHO

あります 飯南町

特集 まいにちを彩る いいなんパブリカ



「よしよし、泣かないで」(赤ちゃんとおふれあう中学生)

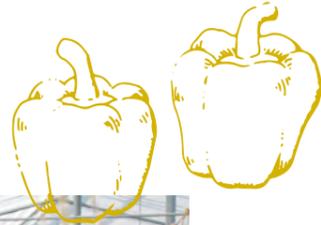
「実も大きくて肉厚。良い出来だと思えます」と笑顔でハウスを案内してくれたのは田淵裕希さん。今年度からパプリカを中心とした自営就農を開始しました。和歌山県で働いていた田淵さんは、自営就農を目標に移住先を検討。就農支援制度が充実している飯南町が目にとまり、移住を決心しました。

移住して2年間は農業研修制度により、研修先農家で農業の知識やパプリカ栽培の技術を学んできました。研修を終え、念願の自営就農を開始。「自分でスケジュールを決め、全部一人で作業しないといけない。研修とは違い不安もありましたが、色づいていくパプリカを見て安心しています」と田淵さん。

町のリースハウス事業により設置した4棟のハウスには、所狭しとパプリカが植えられています。

「果実が日焼けしないよう遮光シートで日差しを調整するなど、常に目が離せないのが大変。だからこそ、箱いっぱい収穫したパプリカを見ると嬉しい」と話す田淵さん。今年の出荷量は約8トンを見込んでおり、夏場は収穫の最盛期を迎えます。

パプリカで自営就農



Interview

●新規就農者 田淵 裕希 さん(上来島)



オリジナルパッケージで包装され町内のスーパーに並ぶいいなんパプリカ

たわわに実るパプリカは、片手に収まらないほどの大きさ。昼夜の寒暖差で実はゆっくりと色づくため、他産地よりも大きく、肉厚に育ててから収穫しています。高品質の「いいなんパプリカ」の評判は高く、田淵さんも複数の出荷先を予定しています。

田淵さんは、パプリカで自営就農している先輩たちと情報交換し、切磋琢磨しながら生産に取り組んでいます。「パプリカの産地といえば飯南町と言えるほど、町全体の生産量を増やしていきたい。一緒に頑張る仲間が増えると嬉しい」と田淵さんも産地化に向けて意気込みます。

飯南町を全国的な産地に

★まいにちを彩る★
いいなんパプリカ



約20年前から栽培を推進している「パプリカ」。町内の生産量は年間40トンにまで増加し、国内有数の産地となりつつあります。栽培支援とブランド化が進む、パプリカ生産の様子を紹介します。



新たな特産品へ

約20年前、特産のメロンの生産量が低迷し、新たな生産奨励品目として目を付けたのが「パプリカ」。7月～10月に収穫期を迎え、食卓を鮮やかに彩ります。

パプリカは国内で流通する9割以上が外国産で、10月ごろから輸入が本格化。夏場は供給量が少ないため、国内産の需要が高まり、市場では高単価で取引されています。

町は令和5年から「いいなんパプリカ」のロゴマークを作成し、専用サイトでのPRを開始。ロゴマークをあしらった個包装パッケージに変更後、売上も一段と増加し、今年度の出荷見込量は48トン。販売額約4800万円を見込んでいます。

パプリカで新規就農

リースハウス事業など町の支援も活用し、生産農家は年々増加。今年度は11戸となり、うち5戸はIターンして農業に挑戦する新規就農者です。

町は、新規就農のための経営資金支援を行うほか、県東部農林水産振興センター、J・Aと連携した巡回指導を実施。新規就農者が安心して生産できる体制を整えています。



リースハウス団地整備事業により設置されたビニールハウス

町が実施する就農支援策

リースハウス団地整備事業

町がハウスを整備し、使用者はハウス使用料を負担。初期設備投資を軽減

農業後継者育成支援事業補助金

機械導入の1/2補助、施設整備の2/3補助

経営開始資金(補助金)

農業経営開始から最大3年間、年間150万円を交付

※このほか国、県の補助事業もあります。



レシピ01

パプリカのきんぴら



材料(2人分)

・パプリカ	1個	・砂糖	小1
・ごま油	大1	・白ごま	適量
・めんつゆ(2倍濃縮)	大1		

作り方

- ①パプリカは5mm幅に切る。
- ②フライパンでごま油を熱し①を入れて炒める。
- ③パプリカがしんなりしてきたら、調味料を加える。
- ④汁気がなくなり、味がなじんだら火からおろす。
- ⑤器に盛り、仕上げにごまを振りできあがり。

レシピ02

パプリカのグラタン



材料(2人分)

・パプリカ	2個	・ベーコン	30g
・玉ねぎ	1/2個	・ホワイトソース(市販)	適量
・じゃがいも	1/2個	・チーズ	適量

作り方

- ①パプリカを縦半分に切り種を取り除く。
- ②みじん切りにした玉ねぎ、じゃがいも、ベーコンを炒め、火が通ったらホワイトソースを入れてなじませる。
- ③①のパプリカに粗熱をとった②を入れ、上にチーズをかける。
- ④トースターで10~15分焼き、焦げ目がついたらできあがり。

レシピ03

パプリカのかきあげ



材料(2人分)

・パプリカ	1個	・冷水	適量
・天ぷら粉	大3	・揚げ油	適量

作り方

- ①パプリカは食べやすい大きさに切る。
- ②天ぷら粉に水を加え混ぜ、さらに①を入れて混ぜる。
- ③170℃に熱した油でカリッとすまで揚げたらできあがり。

この美味しさ、味わってみよう

市場で高い評価を得ている「いいなんパプリカ」。主に関西のスーパーで販売されていますが、町内のスーパーや産直市でも購入が可能です。全国に誇れる「いいなんパプリカ」の美味しさを、ぜひ味わってみませんか。おすすめのパプリカレシピを紹介します。



おいしさのヒミツ

いいなんパプリカ

- 01 涼しい気候で、果実がゆっくり成熟しうまみが凝縮。大玉で肉厚なのが特徴
- 02 有機肥料を使った養分の高い土づくりにこだわって栽培
- 03 完熟した果実のみを収穫しているため、味は甘くフルーティー

パプリカの保存ポイント

パプリカに水気は禁物!

冷蔵保存 水気をふき取り、キッチンペーパーに包み、ポリ袋に入れて野菜室で保存

冷凍保存 洗ってヘタと種を取り、カットして保存袋で冷凍保存可能



詳しくは「いいなんパプリカ」サイトへ ▶





谷自治振興会主催の「タニマ・デ・シネマ野外映画会」が谷笑笑校校庭で行われました。
バーベキュー大会も行われ、参加者は家族や友人とバーベキューを楽しみ、映画を鑑賞。校庭に設置された巨大スクリーンでは、子どもたちに人気の映画「はたらく細胞(実写版)」が上映されました。
夏休みとあって多くの小中学生が参加。芝生の上で寝転がったり、友達と話をしたりと、映画を見ながら夏の夜のひと時を楽しんでいました。



迫力の大スクリーン
タニマ・デ・シネマ野外映画会



開放的な雰囲気の中で映画鑑賞を楽しみました



頓原交流広場で、第36回とんぼらふる里夏祭りが行われました。
盆踊りや頓原音頭踊り、頓原中吹奏楽部の演奏、飯南牡丹組のよさこいなど、ステージイベントが盛りだくさん。仁多乃炎太鼓や歌謡ショーも会場を一層盛り上げていました。
ヨーヨー釣りなどの夜店も並び、お目当てのお店へと走る子どもたちの楽しそうな姿も見られました。
祭りの終盤では、次々と打ち上げられた花火が夜空を彩り、観客からは歓声が上がりました。



1000発の花火が彩る
とんぼらふる里夏祭り



間近で打ち上げられた花火は大迫力



雲南エネルギーセンターでゴミを固形燃料にする過程を見学



大切に使いたくなるマイ箸と箸置きが完成

飯南町社会福祉協議会主催の「サマーボランティアスクール」が開催され、小中学生23名が参加しました。
参加者は飯南町のごみ問題の説明を受けた後、雲南エネルギーセンター(雲南市加茂町)を見学。ごみをエネルギーに変える仕組みを学びました。
物を大切に使うきっかけとして、絵本作家かげやままきさんによるヒノキのマイ箸と箸置きづくりも体験。参加した小学生は「ごみを減らすことの大切さが分かってよかった」と話しました。



ごみ問題について考える
サマーボランティアスクール



かげやままきさんと電熱ペンで箸置きにイラストを描く参加者



谷公民館主催の「やまめのつかみ取り大会」がふれあい養魚場(井戸谷)で行われました。
年齢別に2グループに分かれ池に入り、つかみ取りがスタート。低学年の子どもたちは歓声を上げながら、素早く逃げるヤマメを追いかけました。
高学年の子どもたちが狙うのは、30センチ近くある大物。物陰に潜んでいないか注意深く探し、狙いを定めて手を伸ばしていました。
つかみ取りを楽しんだ後は、谷青年協議会の協力により、ヤマメの塩焼きが振舞われました。



大物を捕まえる!
やまめのつかみ取り大会



一番大きなヤマメを探す子どもたち



自転車で急勾配を駆け上がる飯南ヒルクライム2025が開催されました。
美郷町から飯南町にかけての全長7.7キロメートル、高低差400メートルのコースは、中国地方最大級。総勢142人の参加者は、性別や年齢別のクラスに分かれて疾走しました。沿道から大きな応援の声が聞こえると、手を挙げてこたえる場面も。
表彰式では、各クラスの上位入賞者が賞状と副賞を受け取り、会場からは拍手が送られました。



約40度の山道をひたすら登る!
飯南ヒルクライム2025



ゴールに向けて一斉にスタート



町内で活動するALT(外国語指導助手)のラブリンデンさんとドーソン・ダニエルさんによる英会話教室が開催されました。
英会話教室は、英語や多文化に触れてもらいたいと、ALTの2人が企画。カードゲームなどを使い、楽しみながら英語を学びます。
子どもから大人まで誰もが参加できる英会話教室。参加者全員でジェスチャーを使ったクイズをしたり、グループに分かれて会話を楽しんだりしながら交流を深めています。
英会話教室は毎月第2・第4木曜日の18時から来島交流センターで開催されます。



英語で話してみよう
ALT英会話教室



英単語を使ったゲームに挑戦する参加者



カヌーの里おおち(美郷町)で、町内5公民館共催事業「レッツチャレンジアウトドア」が行われました。
町内の小学生10名が参加し、江の川でカヌーを体験。インストラクターから、パドルの使い方やカヌーの乗り降りなどの説明を受けた後、川に入りカヌーを操作しました。
はじめはパドルの使い方に苦戦していましたが、すぐに慣れ、笑顔で川に漕ぎ出してきました。
参加者は、水面から見る風景や、穏やかな川の流れを楽しみながら、カヌー体験を満喫しました。



夏休みの挑戦
5つの公民館が共催カヌー体験



インストラクターとともに、上流を目指しました



女亀山 保全活動

7月13日

女亀山の登山道整備や環境保護のため、女亀山保護育成会や島根県と、登山道の草刈りなどを実施しました。

女亀山は、県の自然環境保全地域に指定されており、毎年この保全活動を行っています。また、三瓶自然館の井上雅仁副館長が同行し、女亀山の動植物の生息環境を調査・観察しました。

町は、引き続き県や保護育成会などと連携し、女亀山の保全活動を続けていきます。



自生する植物の生育状況などを調査

エコアクションを学ぶ 講演会を開催

8月2日

脱炭素の取組の一環として、小中学生を対象にエコをテーマにしたまちづくり講演会を開催しました。

講師は、国土交通省の研究所に所属し、環境に配慮した建物を増やすための法律整備などに取り組む宮田征門さん。エネルギーの仕組みやエコの大切さについてのお話や、特殊な機械を使ったさまざまな実験を行いました。

参加者に配布したエコチェックシートは、夏休み中に取り組んでもらい、その結果を9月下旬ごろに町のホームページに掲載する予定です。



エアコンの冷房・暖房の仕組みを教える宮田さん(右)

飯南高校 サマーツアーを開催

8月2日(土)～4日(月)

飯南高校生と町内をめぐり、本町や高校の魅力を感じさせるサマーツアーが、町外の中学生を対象に開催されました。

関西や福岡県から5人が参加し、森林セラピーや志津見ダムでのサップなどを体験し、本町の自然や在校生・地域住民と交流。最終日には高校のオープンハイスクールに参加して高校の教育活動や特色を知り、本町に理解を深める機会となりました。

今後も飯南高校と連携し、教育魅力化を図っていきます。



ツアー内容は飯南高校生が企画

プログラミング 教室を開催

8月7日(木)

プログラミング言語・Rubyを学ぶ教室を、本町で初めて開催しました。

この教室は、小学生を対象に県が主催し、将来のデジタル人材の育成を図ることが目的。Rubyは、プログラミング言語の中でもシンプルで理解しやすく、アプリ開発やゲーム制作といった幅広い分野で活用されています。参加者は「スモウルビー」というRubyを学べるソフトを使い、ゲーム制作に挑戦しました。

この教室での学びをきっかけに、子どもたちが将来役に立つデジタル技術を身につけることを期待しています。



慣れてくると、短時間でもプログラムを作成できるように

チャレンジオフィス入居者決定

チャレンジオフィスは、企業等が町内で事業化を図ることを目的に利用できる貸事務所です。令和2年度から赤名地区の福島邸の2階を活用し、チャレンジオフィス事業を実施しています。

8月1日から新たな入居者が決まりましたのでご紹介します。

●入居者

PEACEMAKER COFFEE ROASTERY 代表 下村允人さん

●事業内容

●下村さんのコメント

名古屋市から飯南町へ移住し、都市部で培った経験と地域での生活を結び付け、心安らぐ「おうちコーヒー文化」を地方にも広げたいと考えました。本格的なコーヒー焙煎所として、地域に根差した活動を通して、新たな日常の豊かさを提案できればと思います。飯南町の地域資源と連携した商品開発や福島邸を活用したコーヒーの提供など、地域の方々とのつながる場の創出も検討しています。



ご自身で焙煎されています



水出しコーヒーや豆などすでに町内で販売中の商品も



下村さんについて詳しくはこちら

コンポストの取組を進めています

「脱炭素のまち」を推進する本町では、脱炭素を身近に取り組んでもらうため、コンポストの設置を推進しています。

コンポストとは、家庭から出る生ごみや落ち葉などの有機物を、微生物の働きで発酵・分解させて土に戻す環境にやさしい生ごみ処理で、利用することにより、ごみの削減が期待されます。

町は、各家庭へのコンポスト普及を図るため、出前講座を実施。予定を上回る受講希望があり、今年度の受付を終了しました。

ごみ問題への関心の高さもうかがえたため、今後もごみ削減の取組、啓発活動などを行っていきます。



普及を進めていくコンポスト

保育所の今後のあり方に関する要望書を受理

飯南町社会福祉協議会の小野彰会長から「保育所の今後のあり方に関する要望書」が提出され、塚原町長が受理しました。

同社会福祉協議会は、町内4か所にある保育所の運営を町から受託しています。要望書では、保育士確保が困難となってきたこと、児童数の減少、出生数の伸び悩みなどを踏まえ、「町内保育所の今後のあり方について協議する場を設けること」などが盛り込まれています。

今後、保護者や保育士などから意見を集約しつつ、保育所運営のあり方を検討していきます。



healthycolumn
健康コラム

保健 医療 介護 福祉

●飯南病院 ☎72-0221 ●来島診療所 ☎76-2309 ●保健福祉センター ☎72-1770

**飯南病院
便り**

尿酸と生活習慣



松江市立病院
研修医
あごう たかひろ
吾郷 貴大

7月の間、飯南病院でお世話になりました、松江市立研修医の吾郷貴大と申します。光栄なことに健康コラム執筆の機会をいただきました。今月のテーマは「尿酸と生活習慣」です。

さっそくですが、尿酸とは何でしょうか？字面からはおしっこと関係がありそうですが…。

ざぱり尿酸とは、プリン体の老廃物です。最近プリン体オフと銘打ったビールをよく見かけますね。尿の他、便に混じり腸管からも排泄されます。一見無用の物に思えますが、細胞を守る働きも担っています。

プリン体は、私たちが体を動かすためのエネルギー源や細胞核の構成要素であり、欠かせない存在です。食べ物からも取り込まれますが、大半は体内で合成されています。

尿酸にまつわる健康問題として思い浮かびやすいのは痛風でしょうか。関節内に析出した尿酸結晶が

原因で、激痛を伴う発作を引き起こします。大半の原因は高尿酸血症とされています。

高尿酸血症とは、血中の尿酸濃度が7.0mg/dLを超える状態と定義されています。原因としては、尿酸産生過剰、腎排泄の低下、腸管排泄の低下が挙げられます。先に挙げた2つが生活習慣と大きく関係しています。

尿酸産生亢進の生活要因には主に高プリン食、高肥満、過度な飲酒があります。ダイエット目的の極端な食事制限や激しい運動もかえって尿酸値を上げてしまいます。「尿酸値対策100kcalシート」(検索推奨!)を利用した栄養管理、1杯目をゆっくり楽しむ「アルパ飲み」、会話しながら続けられる運動が取り組みやすい所かと思えます。

高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の治療に取り組むことは、腎機能の維持につながります。また、尿酸値の管理をすることで腎機能維持や他の生活習慣病進行抑制につながるといわれています。

夏は尿酸値が上がりやすい季節です。暑さが続きますが元気に乗り切りましょう。

**保健福祉センター
便り**

9月1日から9月30日は **健康増進普及月間** です

社会環境の変化や高齢化により、がん・心臓病・脳卒中・糖尿病などの生活習慣病が増加しています。

生活習慣病の予防は、「食生活」「運動」「こころ」「お口の健康」「禁煙」「飲酒」など、さまざまな切り口があります。「健康増進普及月間」は生活習慣病についての理解を深め、自分の生活習慣を振り返り、改善に取り組むきっかけをつくる月間です。

**“おいしい!の笑顔を集めよう!プロジェクト”
～野菜をおいしく食べよう～**

飯南町では、「食生活」を切り口に、啓発と体験を行っています。食生活改善推進員さんの協力を得て、住民健診での野菜摂取量チェックを実施しました。

食事は毎日3食気をつけることができます。「ちょっと野菜を増やそうかな」「タンパク質を食べないと・・・」「アルコールを減らそうかな」など、気持ちが動いたときに、行動に移してみましょう!



コラム



来て、見て、知った! 飯南町のこと(5)

飯南でとれる作物

アコメヤ トウキョウ
役場まちづくり推進課の神谷です。(株)AKOMEYA TOKYO(アコメヤ)から、国の企業人材派遣制度を利用して、昨年度から飯南町役場で勤務しています。

飯南町の夏が来ました。昨年、はじめて経験したこのまちの夏は、私にとってとても色鮮やかな記憶です。感動したのは、夏になったとたん、町内のいたる所で野菜やくだものがあふれてにぎやかになったこと。道の駅やスーパーの産直コーナーでも多く目にしますが、個人宅で広い畑にさまざまな野菜やくだものがなっているのが印象的でした。新鮮なものが手に入るのがうれしかったことを覚えています。

買うばかりだった野菜ですが、「作らんか?」と誘っていたとき、今年野菜づくりをしています。畑の一部を借りて作り方を教わりながら育て、今、収穫の真っ最中です。

草取り、防虫、水やり——。ほんの小さな畑ですが、実がなるまでの大変さや、大きく育つか不安になる気持ち、収穫できたときの安堵とうれしさを感じています。収穫までの苦労と喜びは作る人にしか分からないものだと思いますが、その一端を感じることができたように思います。

「商品販売」とは単なる品の受け渡しでなく、生産者の声や

生産の背景も一緒に伝えることです。私たちアコメヤのスタッフは、「商品」を通して作り手と使い手をつなぐ「カタリスト(=触媒)」だと意識し、飯南米やしめ飾りをはじめとする全国の“良いもの”を消費者へ届けています。

野菜づくりをきっかけに、自分でモノを生み出す楽しさと大変さを知る良い機会となりました。今後も、アコメヤの役割として、商品の裏側にある背景をしっかりと消費者に伝え続けていきます。



大きく大きいオクラができました 自分で育てた野菜はおいしさ10倍増



みんなで作る!

笑顔あふれる飯南暮らし



「笑顔あふれる飯南暮らし」をテーマに、各地域で取り組まれている活動を取り上げていきます。

今回は地域おこし協力隊谷地区地域づくり担当の十鳥が、活動をレポート

集いの場、学びの場、経験の場

谷地区で地域おこし協力隊として活動している十鳥です。着任から1年10ヶ月、「谷笑楽校」を拠点に、谷地区の皆さんとともに地域づくりに取り組んでいます。

主な活動の一つとして、月2回開催している「水ようカフェ」というコミュニティカフェの運営があります。住民同士の交流の場として谷笑楽校を開放しているほか、私は「教育」や「アート」に関わる企画が得意なので、子ども向けのワークショップなどを行なってきました。

さらに、地域内外の方による持ち込み企画も増えており、「味噌づくり」「コーヒー焙煎体験」「ランチ交流会」「防災カフェ」など、世代や興味関心を問わず楽しめる内容を展開しています。今後も谷笑楽校が、住民の交流や学び、挑戦が生まれる場所として、そして谷地区のヒト・モノ・コトに出会える場として広がっていくよう努めていきます。



「水ようカフェ」でお面づくり。個性的なお面が完成しました



防災品の展示や、研修会を行った「防災カフェ」





しまね難病相談支援センター 相談会

難病を抱え、生活や就労にお困りの人はご相談ください。

相談名	主な相談内容	日 時
一般相談	難病、治療、生活などに関する相談	月曜日～金曜日 8時30分～16時30分
就労相談	難病患者の就労に関する相談 (難病患者就職サポーター対応) ※前日までに予約が必要です。	毎月第2水曜日 13時30分～15時30分 ※2026年2月のみ 第3水曜日

- 開催場所 しまね難病相談支援センター
(出雲市塩谷町223-7)
- ☎問合せ しまね難病相談支援 ☎0853-24-8510

笑顔あふれるまちづくり懇話会 申込受付中

本町は「第3次飯南町総合振興計画」に基づき、5つの基本施策を定め、事業に取り組んでいます。

町の施策や取組に関して、担当課等と意見を交わす「笑顔あふれるまちづくり懇話会」の実施申込を随時受け付けています。

- 対象 若者、高齢者、地域コミュニティなど、どんなグループや団体も対象です(おおむね10人程度)。
- テーマ 子育て、農業、教育など関心のあるテーマを指定してください。
- 開催日 申込後、日程やテーマを調整します。開催希望日の14日前までに申込書を提出してください。申込様式は町ホームページからダウンロードできます。

- ☎問合せ まちづくり推進課 ☎76-2864



飯南町
ホームページ

労使関係セミナー開催

収入を増やしたい、自分が活躍できる場を広げたいなどの理由から、副業・兼業を希望する人は年々増加傾向にあります。

本セミナーでは、労働法を専門とする講師が、副業、兼業などの留意点について講演します。

- 内容 基調講演「副業、兼業、スポットワークの留意点」～副業・兼業の促進に関するガイドラインの解説を交えて～
- 日時 9月24日(水)13時30分～16時
- 会場 島根県民会館2階 第1・第2多目的ホール
- 定員 100名(先着順、事前申込優先)

- ☎問合せ 島根県労働委員会事務局 ☎0852-22-5450



島根県
ホームページ

自衛官候補生(男女)募集

- 応募資格 日本国籍を有し、18歳以上33歳未満の人(採用予定月の末日現在)
- 試験科目 筆記試験、口述試験、適性検査、身体検査と経歴評定
- 応募期間 9月16日(火)～11月21日(金)
- 試験期日 (筆記試験・適性検査) ※ウェブ試験11月29日(土)
(口述試験・身体検査)12月6日(土)
- 試験会場 (筆記試験・適性検査)ご自宅で受験が可能です。
(口述試験・身体検査)陸上自衛隊出雲駐屯地

- ☎問合せ 自衛隊島根地方協力本部 ☎0852-21-0015

求 人 情 報

無料職業紹介所で受け付けた求人をご紹介します。詳しい内容を知りたい方、このほかの求人情報をご覧になりたい方は、お問い合わせください。求人情報の閲覧のみも可能です。

飯南町無料職業紹介所
(役場まちづくり推進課内)
☎76-2864
※表示のない市外局番は「0854」です

一覧はHPより
ご確認ください



加田の湯	76-3357
浴室管理、フロント受付、施設内外の清掃、買い出し、配達 特になし(経験者優遇) ◎時962～1,050円	パート 1～2人

(株)後藤建設	72-0103
現場技術員(正社員) 建設機械運転経験者 ◎月212,000～252,000円	フル 1人
建築施工管理技術者(正社員) 1・2級建築施工管理技士 ◎月252,000～302,000円	フル 1人
土木施工管理技術者(正社員) 1・2級土木施工管理技士 ◎月252,000～302,000円	フル 1人

(有)頓原ランドリー	72-0036
衣類クリーニングの仕上げ・受付 普通自動車運転免許 ◎時980円	パート 1人

(株)いいなん	72-1080
バイオマス製造機の製造、農作物栽培作業 普通自動車運転免許(AT限定不可) ◎時970円	パート 1人
バイオマス事業、農業・営農組合手伝い 受託業務(家庭ごみ収集、分別作業) 普通自動車運転免許 ◎日8,000円～	フルタイム パート 2人
バイオマス製造機の製造、農作物栽培作業(正社員) 普通自動車運転免許(AT限定不可) ◎月143,792～167,200円	フル 1人

(福)友愛会	72-0214
看護職員(正社員) 看護師か准看護師 ◎月243,900～263,900円	フル 2人
介護職員(正社員) 未経験者歓迎・介護福祉士有資格者・経験者優遇 ◎月219,000～263,900円	フル 3人
介護職員 経験者・介護福祉士有資格者は賃金面優遇 ◎時1,100～	パート 3人
調理員 ◎月177,400～197,200円	フル 2人
シーツ交換 ◎時970円	パート 1人

9月1日～10月31日は 行政相談月間

行政相談は、国や役所の仕事に対する意見や要望を受け付け、その解決を促進し、行政運営の改善に役立てるための制度です。

今年度は、9月1日(月)～10月31日(金)を行政相談月間と定め、行政相談員が行政相談所を開設し、相談を受け付けます。

- 日時 9月10日(水) 9時～12時
- 会場 さつき会館
- 日時 10月10日(金) 9時～12時
- 会場 飯南町役場

- 行政相談員 両日ともに朽木 博文さん

飯南町では毎月相談所を開設しています。秘密は固く守られますので、お気軽にご相談ください。

行政相談日日程は、「まちのスケジュール」またはHPより確認ください。

- ☎問合せ 頓原基幹支所 ☎72-0311
総務省島根行政監視行政相談センター
行政監視行政相談課
☎0852-21-3630



飯南町
ホームページ

「母子父子寡婦福祉資金」 予約貸付受付中

- 児童の進学等の資金(貸付はいずれも無利子)
- 対象 令和8年4月の進学を希望する人で、母子家庭の母か父子家庭の父が扶養する児童、父母のいない児童、寡婦が扶養する子
- 修学資金 高等学校、大学、大学院、高等専門学校、専修学校の就学に必要な資金(授業料、書籍代、交通費など)
- 修業資金 就職に必要な知識技能を習得するための資金
- 就学支度資金 就学、修業に必要な入学金や被服などの購入資金

■母子家庭の母、父子家庭の父、寡婦の知識技能習得の資金(連帯保証人あり:無利子、なし:年1%)

- 対象 母子家庭の母、父子家庭の父、寡婦
 - 技能習得資金 就職に必要な知識技能を習得するための資金
- ※島根県育英会など、併用できない奨学金があります。「高等教育の修学支援制度による奨学金・授業料免除等」は併用可能(給付額・減免額を差し引いた額)。
- 申込期限 令和8年2月末(両資金)

- ☎問合せ 福祉事務所 ☎72-1773



森のたより

(一社)飯南町観光協会
☎76-9050

森林セラピー通信



島根の魅力のひとつに

7月4日、島根県に派遣されている国際交流員5名の皆さんが、取材のため森林セラピーを体験されました。今回の取材記事は「美肌」をテーマに県内各地で取材した内容を英語、韓国語、中国語、ポルトガル語に翻訳し、島根県のホームページ上で9月頃に公開される予定のものです。

例年よりも早い梅雨明けとなった今年。この日も連日30度超えが続く中でしたが、木陰の涼しさや川の水の冷たさに「飯南町涼しい。避暑地としてまた来たい!このまま帰りたくない~」など、夏の飯南町の魅力を感じて下さいました。

森林セラピーガイドの岩佐さんによる森林セラピーを体験され、「(森には)多様な音があることに気付くことができた」「最近みんな忙しかったので、心地よいアクティビティになった」「自然や虫が苦手だったけど、(道も広く整備されているため)慣れていない人にも優しい森だった」などの感想が聞かれました。

考えるから「感じる」ことをテーマに参加した方は、「頭ではなく心で感じる時間に癒された」と話され、まさに自然の中でリフレッシュされたようです。

町民向け森林セラピーの企画もあります。
皆さんからのお申込み、お待ちしております♪

こんにちは
中山間地域研究センターです。

「生命地域」を未来へつなぐ しまね・中山間地域セミナーを開催

●中山間地域研究センター ☎76-2025
<https://www.pref.shimane.lg.jp/chusankan/>

島根県中山間地域研究センターでは、「生命地域」である中山間地域の魅力を再認識し、元気な中山間地域を未来につなぐきっかけづくりとなるよう、「食と地域」をテーマにセミナーを開催しますので、ぜひお出かけください。

- 開催日時 令和7年10月3日(金) 14:00~16:30
- 場所 島根県中山間地域研究センター2階 大会議室
- 内容
[基調講演]
講師 藤原辰史氏 (京都大学人文科学研究所教授) (奥出雲町出身)
演題 生類の思想-「生命地域」を食から考える

[中山間地域研究センターからの報告]
詳細は当センターホームページをご覧ください
●定員 100名(要事前申込・入場無料)
●申込方法 しまね電子申請サービス・FAX・電話
TEL:0854-76-3858 FAX:0854-76-3758
(申込者(代表者)の氏名、電話番号、参加者数をお知らせください)
電子申請サービスはこちら→
●申込期間 令和7年9月3日(水)~9月24日(水)
(電話受付は平日9:00~17:00)

[藤原辰史先生のプロフィール]
1995年 島根県立横田高校卒業
1999年 京都大学総合人間学部卒業
2025年 京都大学人文科学研究所教授
専門は農業史、環境史
著書に「緑食論」「食べるとはどういうことか」「分解の哲学」「ナチス・ドイツの有機農業」「カブラの冬」など
山陰中央新報 日曜1面コラム「羅針盤」に執筆



問合せ 企画振興スタッフ ☎0854-76-3858

俳句

琴峯華句会 七月の作品から

梅の実を見上げ小鳥と会話する
田部智津子 八嶋 敏江

炎昼や人の住まわぬ家ばかり
八嶋 敏江

山青葉三瓶登山を励まして
土池 博子 野苺の種噛み砕く杣の道 八嶋 昭男

国引の山々緑滴れり
朽木 豊子 二日月は数へきれざる花木権 山崎智恵美

鉢土を叩き出したる大夕立
松平富美子



今月の人権標語

令和6年度 「家族でつくる人権標語」優秀作品から

“ありがとう”
“の言葉よりも すぐきだな”

志々小学校6年 福留 蓮さん
4年 福留 紬さん
2年 福留 蓮さん
家族名 美帆さん

標語に込められた想いをみんなで意識し、差別や偏見のない
明るいまちづくりをめざしましょう。

●9月のし尿汲取り日

汲取り地区	汲取り日
頓原・志々	5日(金) 10日(水)
赤名	22日(月) 27日(土)
来島	17日(水) 20日(土)

【クリーン(株) ☎72-1401(頓原地域)
【クリーン(株) ☎76-2441(赤来地域)

決められた日時を
必ずお守りください。

雲南ネットのデータ放送や雲南市・飯南町事務組合ホームページでも確認することができます。

雲南市 飯南町事務組合 ホームページ



すこやか

7月届出分

新生児 屈出人 地区
藤原 海莉ちゃん 翔 太(上来島)
宇治田 晴ちゃん 拓 美(頓原)
那須 来碧ちゃん 貴 宏(長谷)
お名前 親族 地区
加藤 敏光様(75) 久 宜(上来島)
長里美恵子様(104) 禧 臣(小田)

●9月のごみ収集日

収集地区	陶器・ガラス類 くつ類・プラスチック類 収集日	金属類・灰類 くつ類・プラスチック類 収集日	資源物 収集日
町区、敷波(古城・稲荷・田畝下)	8日(月)	22日(月)	17日(水)
都加賀、奥畑、上区、花栗、長谷、寺沢 敷波(田畝西・田畝東・琴引中・琴引奥) 佐見、獅子、川西(谷川・西・才谷1・才谷2)、志津見、角井	9日(火)	24日(水)	
川東、川西(南)	10日(水)	25日(木)	
赤名(上市・中市・下市)、衣掛団地、宮ノ下団地 下赤名住宅地区	1日(月)	16日(火)	24日(水)
上赤名、下赤名、谷、上来島(上来島・安江・横路)、小田真木 野萱(琴麓、町道下三日市橋)、下来島	2日(火)	17日(水)	
上来島(杉戸)、野萱(塚原・三日市・野萱・下三日市)	3日(水)	18日(木)	

[いいしクリーンセンター] ☎72-9217

2025
9

まちのスケジュール

📖教育 + 健康・保健 🌸文化・体育 💧その他

1 月	◆ 国民健康保険料納期限 ◆ 後期高齢者医療保険料納期限 📖 赤名小始業式
2 火	
3 水	+ 子宮がん検診(午前:保健福祉センター 午後:さつき会館)
4 木	
5 金	
6 土	◆ 親子で防災キャンプ(赤名改善センター)(~7日)
7 日	📖 頓原中サマーコンサート(みせん)
8 月	
9 火	
10 水	+ オレンジカフェ(交流センターとんぼら) ◆ 行政相談(さつき会館)
11 木	🌸 志々グラウンドゴルフ大会(さくら広場)
12 金	
13 土	📖 中学校体育祭
14 日	
15 月 敬老の日	
16 火	+ オレンジカフェ(赤名福島邸)
17 水	
18 木	+ 1歳6か月児・3歳児健診(保健福祉センター)
19 金	+ 乳がん検診(来島交流センター)
20 土	📖 小学校運動会(頓原小、来島小) 🌸 志々地区合同体育大会(志々山村広場)
21 日	◆ しまね家庭の日
22 月	+ 乳がん検診(来島交流センター)
23 火 秋分の日	◆ 琴引山チリケ封じ登山
24 水	
25 木	📖 赤名小運動会
26 金	◆ はびご無料結婚相談会(役場本庁舎)※予約制 🌸 オレンジカフェ(つがが工房)
27 土	◆ みんきじカーニバル(来島交流センター)
28 日	🌸 赤名町民体育大会(赤名小校庭) 🌸 和太鼓&篠笛の世界(来島交流センター)
29 月	
30 火	◆ 国民健康保険料納期限 ◆ 後期高齢者医療保険料納期限

(毎週火・水・金曜日) + ほっと。Café(来島保健センター)

町の人口 4,288人(前月比-9人) 世帯数1,984戸 R7.8.1 現在

「ルーツいいなん」49

このまちに住んでいようと、なからうと、ルーツをたどれば飯南町。生まれや育ちは違っても、飯南町に縁やゆかりがある。そんな人たちを紹介いたします。今回登場した人が次の人を指名。つながり続くよどこまでも。

原点は飯南高報道部



たなか ゆういちろう
田中 祐一朗
頓原出身、飯南高卒業。大阪の大学に進学後、在学中からテレビ番組制作等に携わる。2023年に山陰中央テレビジョン放送局に入社。ニュース制作局に所属し、記者として活躍中。

TSKさんいん中央テレビの報道記者として、県内各地を飛び回っている田中祐一朗さん(29歳)。取材、原稿執筆、映像編集、中継など記者の業務は多岐にわたり、カメラマンなど他のスタッフと協力しながら、ニュース映像を作り上げていきます。



「ずっと同じ場所にいると、その良さが見えなくなる」と、海外旅行に出かけるなど、常に新しい視点を持つことを意識している田中さん。鳥根で働きはじめてから、学生時代の恩師を取材する機会や、お世話になった人との再会があつてうれしいと話します。

「地元の事って知ってるように知らないことも多い。ニュースを通して新たな発見があるような番組づくりを心がけています」と話します。田中さんは飯南高報道部で部長を務め、NHK全国高校放送コンテストや、全国高等学校総合文化祭で幾度も全国大会へ出場した経験を持ちます。映像制作を仕事にしたいと思ったのも、報道部の経験が原点だといいます。「取材を通して色んな人に会えるのが楽しい。作品を通して人に何かを伝えるということも、素敵なことだと感じています」と映像制作の魅力を語り

ます。取材で飯南町を訪れることもあるという田中さん。「過去の記憶や、地域の今を残すことが報道の使命。記者として、これからも飯南町の話題を取り上げたいと思っています」と意気込みます。将来的にはバラエティ番組の制作も手掛けてみたいと田中さんは話します。「TSKさんいん中央テレビはバラエティ番組にも力を入れている。番組を通して地元へ貢献し、地域を盛り上げることに挑戦したい」と目標を語りました。

今月の表紙

7月14日に赤来中学校で開催された「赤ちゃん登校日」。赤ちゃんとのふれあいを通して、小さな命に感動する心や、生きる勇気を感じ、育むことが目的です。

最初はぎこちなく赤ちゃんに触れていた生徒たちも、最後には名残惜しそうに代わる代わる抱っこしていました。



飯南町公式SNS

スマホで
広報誌を
読んでみ
ませんか



マチイロ